

## プリローダー®システム搭載シリーズ

#### 取扱説明書

ご使用の前に 必ずよくお読みください。 いつでも読めるように、 大切に保管してください。 ご使用の前に必ずお読みいただき、取扱説明書に 従い、正しくご使用ください。また、いつでも読 めるように、大切に保管してください。

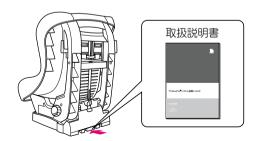
このチャイルドシートは、自動車事故などの際に 衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用 補助乗用装置です。

チャイルドシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。



当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万一リコール等がありました場合は、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をお願いしています。つきましては、当社WEBサイトでのご登録、もしくはお客様登録カードにお名前、ご住所、お電話番号をご記入のうえ、弊社【お客様登録カード係】までお送りくださいますよう、お願いいたします。

取扱説明書は、ベース背面に保管する事ができます。



## 目 次

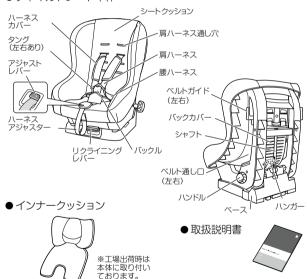
梱包内容を確認しておきましょう		
梱包内容の確認と各部の名称	2	
必ずお読みください	3	
マーク表示について3	お子さまの適応条件と使用方法 4	
緊急時には3		
ご使用上の注意	6	
取り付けできるシート6	取り付けできるシートベルト… 7	
取り付けできないシート6	取り付けできないシートベルト 8	
ご使用上の警告・注意	10	
お子さまを乗せるときは	10	
チャイルドシートを取り付けるときは		
こんなことにも注意して	12	
取り付け前の準備	14	
肩八一ネスの高さ	14	
肩八一ネスの高さ調整	15	
インナークッションの取り付け	19	
体重が 13kg 未満のお子さまに使用する場合20		
お車への取り付け20	お子さまの座らせ方 26	
お車からの取り外し25	お子さまの降ろし方 29	
体重が 9 ~ 18kg のお子さまに使用する場合30		
お車への取り付け30	お子さまの座らせ方 36	
お車からの取り外し35	お子さまの降ろし方 39	
お手入れのしかた	40	
各部品のお手入れ	46	
補修部品について	48	
保証書	49	

## 梱包内容を確認しておきましょう

#### ■ 梱包内容の確認と各部の名称

で使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください。 欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店 または弊社お客様相談室(②③、0120-70-5441)までご連絡ください。お 問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、品番ラベルに記載さ れている品番を必ずお伝えください。(48 ページ)

#### ●チャイルドシート本体



シートクッション、インナークッションのデザイン(形状)は機種により異なります。

## 必ずお読みください

#### ■ マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。これらの記載内容は重要事項となりますので、しっかりとお読みください。

### ▲警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負うお それが想定される内容を示しています。

### ⚠ 注 意

取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがある内容、 または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

#### ♪ アドバイス

チャイルドシートをご使用になるうえで守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



図示されている行為の禁止を示しています。

#### ■ 緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救 出してください。

①バックルボタンを押してバックル ②お子さまを静かにチャイルドシートからタングを外す。 から降ろす。





#### ♪ アドバイス

●バックルボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断 するなどしてお子さまを救出してください。

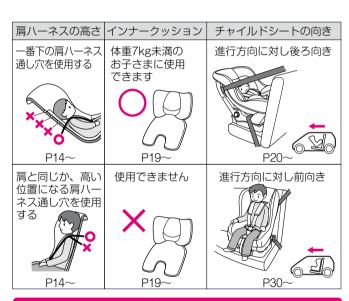
## 必ずお読みください

#### ■ お子さまの適応条件と使用方法

チャイルドシートはお子さまの条件により、取り付け方法が異なります。 ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

	体重	※年齢	※身長
乳児	13kg 未満	新生児~1歳半頃	80cm 未満
幼児	9~18kg	9ヶ月〜4歳頃	70~100cm

<sup>※</sup>年齢、身長の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。



## ▲ 警告

お子さまの体重が 9kg を超えるまでは前向きで使用しないでください。 前向きで使用すると重大な傷害を負う可能性があります。

## ご使用上の注意

#### ■ 取り付けできるシート

● 進行方向に対し前向きに設置されており、なおかつ P7 に記載された 3 点 式シートベルトが付いているシート。



### **▲** アドバイス

取り付けに際しては、取り付けるお車の 取扱説明書も合わせてご確認ください。

#### ■ 取り付けできないシート

シートベルトが付いていないシート



● 横向き・後ろ向きになっているシート● チャイルドシートを取り付ける



● 前方にエアバッグが装備された



と運転操作の妨げや、視界の妨 げになるシート

### **企業**

お車のシートが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを 取り付けることができません。取り付けた場合、事故時にお子さまや 他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

### ■ 取り付けできるシートベルト

このチャイルドシートは、協定規則第16号 (FCF R16) または同 等の基準で許可された3点式巻取り装置付シートベルトを装備した お車において、ご使用が可能です。

#### ● 緊急ロック式巻取り装置(ELR)が付いたシートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出 すと自由に出し入れできますが、 急に引く(急ブレーキなどで体が 前に投げ出されるとき) とシート ベルトがロックされ、引き出せな くなるタイプ。

通常は肩ベルト側に付いています が、一部のお車では腰ベルト側に 付いています。腰ベルト側に付い ている場合は取り付けできません。



全部を出すと

チャイルドシート

固定機能が

作動

● チャイルドシート固定機構(ALR)に切替えできる、緊急ロック式巻 取り装置(ELR)が付いたシートベルト

通常は ELR の機能ですが、シー トベルトをすべて引き出すとチャ イルドシート固定機能に切り替わ り、巻き取ることしかできなくな るタイプ(全て巻き戻るとELR 機能に切り替わります)。



お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整方法など、詳しくはお 車の取扱説明書をお読みください。

## ご使用上の注意

#### ■ 取り付けできないシートベルト

● 2点式シートベルト 肩ベルトがなく、腰ベルトの2点で 固定するタイプ。



- 自動ロック式巻取り装置 (ALR) が付いたシートベルト シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロック され、それ以上ベルトが引き出せなくなる(巻き戻しは可能)タイプ。
- ▼ニュアル式シートベルトシートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。
- パッシブシートベルト シートに座りドアを閉め、エンジンキーを ON にすると肩ベルト が自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。ベルトを外すときは、 ドアを開けるかエンジンキーを OFF にする仕様。
- ●非ロック式巻取り装置 (NLR) が付いたシートベルトシートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ。
- その他のシートベルト 「取り付けできるシートベルト」(P7ページ)に記載されていない シートベルト。

### ▲ 警告

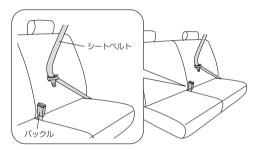
お車のシートベルトが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

### ■ しっかりと固定できない可能性のあるシートベルト

お車のシートベルト(バックル)の設置状況によっては、しっかりと固定できない場合があります。

詳しくは販売店または弊社ホームページにある車種別適合表にてご確認ください。

また、ご不明の点は販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせ ください。



下記のような場合、しっかりと固定できない場合があります。







バックルの付け根が極端に長い

## ご使用上の警告・注意

### ⚠ 警告

#### ■ お子さまを乗せるときは

お子さまだけをお車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故(熱射病やいたずらによる事故等)につながるおそれがあります。



走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗降させないでください。



ハーネスは、緩みやねじれのないよう にお子さまの身体に合わせて調整して ください。ねじれていると事故のとき に重大な傷害を負う可能性があります。



腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷害を負う可能性があります。



### ▲ 警告

#### ■ チャイルドシートを取り付けるときは

チャイルドシートを安全に使用していただくため、柔軟材料(専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等)を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



チャイルドシートのハーネスを刃物等 の鋭利なもので傷つけないでください。 傷ついているとチャイルドシートが正 常な働きをしない場合があります。



チャイルドシートを車両に固定する シートベルトに、緩みやねじれのない よう確認してください。チャイルド シートにガタつきが生じ、事故時に重 大な傷害を負う可能性があります。



取扱説明書に記載された指示以上の分解や、構成部品を取り外した状態での使用、および指定以外の部品等の交換は絶対にしないでください。



## ご使用上の警告・注意

### ⚠ 警告

#### ■ こんなことにも注意して

事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれが強いため、再使用はしないでください。



チャイルドシートのロック部分(バックル等)には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



チャイルドシートを保管するときには、 強い衝撃を与えたり、長期間屋外など の日光が当たる場所に放置しないでく ださい。



## <u>(1)</u> 注 意

#### ■ こんなことにも注意して

チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまが火傷をするおそれがないことを確認のうえ、使用してください。



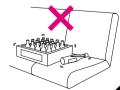
可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分(樹脂部分等)が挟まれないよう、注意してチャイルドシートを取り付けてください。



チャイルドシートにお子さまを乗せていないときでも、安全のため必ずチャイルドシートを固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、傷害を負う可能性があります。



事故発生時に乗員に傷害を与えるよう な物をお車の中に放置しないでくださ い。万一のとき、お子さまや乗員に当 たるおそれがあり、危険です。



## 取り付け前の準備

#### ■ 肩ハーネスの高さ

チャイルドシートの取り付け向き、お子さまの体格により、肩ハーネスの高さを調整する必要があります。

### ▲ 警告

肩ハーネスの高さは必ず正しい位置でご使用ください。不適切な位置 で使用すると、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

体 重	13kg未満	9~18kg	
参考年齢	新生児~1歳半頃	9ヶ月〜4歳頃	
参考身長	80cm未満	70 ~ 100cm	
チャイルド シートの 取り付け向き	お車の進行方向に対し、 後ろ向きで使用します	お車の進行方向に対し、 前向きで使用します	
	一番下の 肩八一ネス通し穴 を使用する	肩と同じか、高い位置の肩 ハーネス通し穴を使用する	
肩ハーネスの 高さ	×××°	×	

### ■ 肩ハーネスの高さ調整

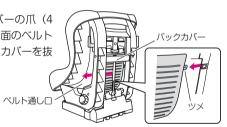
①アジャストレバーを引き上げ ながら、肩ハーネスをすべて 引き出します。



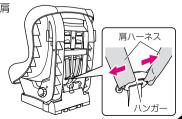
#### ▲ アドバイス

引き出す際には肩ハーネスを引っ張ってください。ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。

②背面のバックカバーの爪 (4か所)を外し、側面のベルト 通し口からバックカバーを抜き取ります。



③背面にあるハンガーから肩 ハーネスを外します。



## 取り付け前の準備

④正面から肩ハーネスを引き抜 きます。

肩ハーネス

⑤インナークッションが付いて いる場合は、それを取り外し ます。

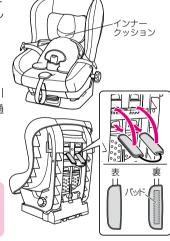
⑥背面からハーネスカバーを引 き抜き、適切な肩ハーネス通 し穴に差し替えます。

### ▲ アドバイス

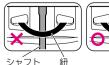
ハーネスカバーには表裏がありま す。パッドを裏(お子さまの肩に 当たる) 側にしてください。

## **注**意

ハーネスカバーを連結している紐が シャフトにかからないように注意し てください。バックカバーが取り付 けできなくなります。



背面から見たとき





⑦ 高ハーネスをハーネスカバー に诵し、適切なハーネス诵し 穴に差し込みます。



⑧背面にあるハンガーに肩 ハーネスをかけます。

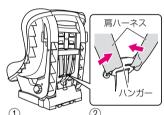
### ▲ 警告

次のような場合、事故時に重大な 傷害を負う可能性があります。正 しく取り付けられていることを確 認してください。

- ①肩八一ネスがねじれている。
- ②肩ハーネスがハンガーに半がか り(引っかけが不完全な状態) になっている。
- ③肩ハーネスがシャフトにかかっ た状態でハンガーに取り付けら れている。
- ④ 肩八一ネスが樹脂部品の上を 通っている。

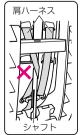
## **注**意

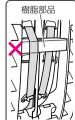
直射日光が当たってシャフトやハン ガーが熱くなることがあります。ご 使用時には十分注意してください。











## 取り付け前の準備

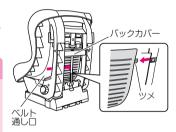
⑨ハーネスアジャスターを引き、 ハーネスのたるみを取ります。



⑩バックカバーを側面のベルト 通し口から差し込み、爪(4か 所)を取り付けます。

## **注**意

バックカバーのツメが本体に確実 に固定されていない、取り付ける 向きが正しくない場合などは、事 故時に十分な機能を発揮しない可 能性があります。

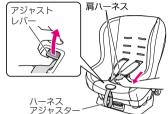


### ■ インナークッションの取り付け

※工場出荷時にはすでに取り付けられています。

インナークッションは、お子さまの体重が 7kg 未満(参考年齢 6 ヶ月未満)の場合にのみご使用になれます。

①アジャストレバーを引き上げ ながら、肩ハーネスを引き出 します。



②バックルボタンを押してバッ クルからタングを外し、肩 ハーネスを左右に広げます。

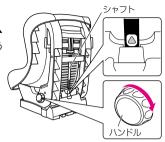


③チャイルドシート座面にイン ナークッションを置きます。



### ■ お車への取り付け

①本体背面にあるシャフトの▲マークが真後から見えるように回し合わせます。



②正面のリクライニングレバー を手前に引いた状態で、側面 の矢印が後ろ向き位置でロッ クするよう、着座部分の角度 を合わせます。

調整後はレバーが戻り、ロックされたことを確認してください。

### ♠ 警告

ロックされていない状態で使用する と、事故時に重大な傷害を負う可能 性があります。

## **(1)** 注 意

操作中に可動部分に指や物を挟まないよう注意してください。



③お車の座席に進行方向に対し 後ろ向きに置きます。最前部 がお車のシートバックに接す るように配置してください。



#### ▲ アドバイス

- お車のシートバックの角度が調整できる場合は、チャイルドシートと シートバックのすき間が極力少なくなるよう、角度を調整してください。
- ●長期間チャイルドシートをお車に取り付けることにより、お車のシートベルトやシートに跡が残る場合があります。チャイルドシートとお車のシートが接する部分にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。

④お車のシートベルトをベルト通し口に通します。

## ▲ 警告

ベルト通し口以外にシートベルト を通さないでください。他の箇所 を使用すると事故時に重大な傷害 を負う可能性があります。



⑤反対側のベルト通し口からお車のシートベルトを引き出します。 シートベルトをベルト通し口の 下端に移動させ、お車のタング をバックルに差し込みます。

## ▲ 警告

お車のバックルが確実にロックされ ていることを確認してください。ロッ クされていないと事故時に重大な傷 害を負う可能性があります。

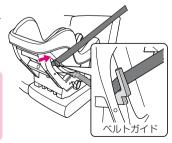




⑥ベルトガイドにお車のシート ベルトをかけます。

#### ♪ アドバイス

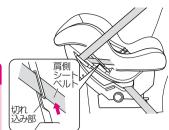
ベルトガイドは本体の両側に装備されていますが、片側のみ(シートベルトの巻取り側のみ)使用します。



⑦背面にあるシャフトの切れ込 みにお車の肩側シートベルト を通します。

## ▲ 警告

直射日光が当たってシャフトやハン ガーが熱くなることがあります。ご 使用時には十分注意してください。



⑧チャイルドシートを押さえつ けながら、お車のシートベル トを引っ張り、ある程度たる みを取り除いてください。

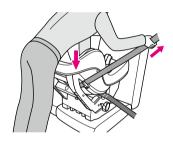
### ♪ アドバイス

お車のシートベルトを引っ張る際は、シャフトから外れないよう注意してください。

⑨ハンドルを"しまる"方向に回します。空回りしながら「カチカチカチカチ」と4回以上音がするまで回します。



ハンドルを回している途中に傾い た場合は、チャイルドシートを押 さえつけ、極力まっすぐになるよ うに取り付けてください。

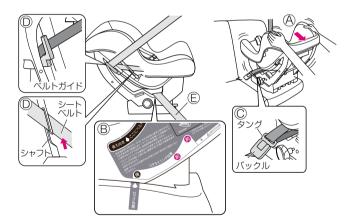




#### ⑩取り付け後の確認方法

下記内容を確認してください。正しく取り付けられていない場合は、 最初からやり直してください。

- ④チャイルドシート上端を引っ張り、しっかり固定されていることを確認する。(目安:動きが3cm以内)
- ®リクライニングが後ろ向きの位置になっている。
- ◎お車のバックルとタングがロックされている。
- ②お車のシートベルトがベルト通し口、ベルトガイド、シャフトを 正しく通っている。
- © お車のシートベルトにねじれやたるみがない。



### ▲ アドバイス

ご使用に際しては、定期的にお車のシートベルトの緩みがないか確認し、緩みがあれば再度取り付け直してください。

### ■ お車からの取り外し

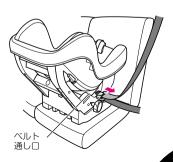
①ハンドルを"ゆるむ"方向に回し、シャフトからシートベルトを外します。



②お車のシートベルトのタング をバックルから外します。



③ベルト通し口からお車のシート ベルトを引き出します。



### ■ お子さまの座らせ方

①アジャストレバーを引き上げ ながら、肩ハーネスをすべて 引き出します。

### ♪ アドバイス

引き出す際には肩ハーネスを引っ 張ってください。ハーネスカバー を引っ張っても引き出せません。

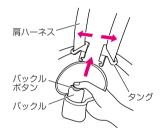


②バックルボタンを押してバック ルからタングを外し、肩ハー ネスを左右に広げます。

## <u>(1)</u> 注 意

可動部分に指や物を挟まないように注意してください。

③お子さまをチャイルドシートの上に深く座らせます。





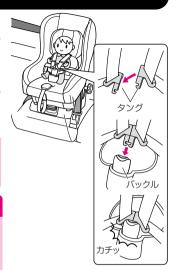
④肩ハーネスをお子さまの肩にかけます。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

### ♪ アドバイス

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていること を確認してください。

## **企**警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



⑤肩ハーネスを引っ張り、腰ハー ネスのたるみを取ります。



⑥ハーネスアジャスターを引き、 お子さまの鎖骨と肩ハーネス に指一本が入る程度まで、肩 ハーネスのたるみを取ります。

## ▲ 警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



#### ⑦着座後の確認方法。

下記内容を確認してください。正しく取り付けられていない場合 は、最初からやり直してください。

- ⑥バックル、タングが正しく結合されている。
- ®肩ハーネスは、一番下の肩ハーネス通し穴を使用している。
- ②ハーネスにねじれがなく、鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る 程度まで締まっている。



### ■ お子さまの降ろし方

①アジャストレバーを引き上げ ながら、肩ハーネスをすべて 引き出します。

### ♪ アドバイス

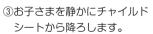
引き出す際には肩ハーネスを引っ 張ってください。ハーネスカバー を引っ張っても、引き出せません。



②バックルボタンを押してバック ルからタングを外し、肩ハー ネスを左右に広げます。

## 注意

可動部分に指や物を挟まないように注意してください。



### ♪ アドバイス

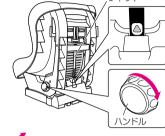
緊急時にバックルボタンを押して もタングが外れない場合は、ハー ネスを切断するなどしてお子さま を救出してください。





### ■ お車への取り付け

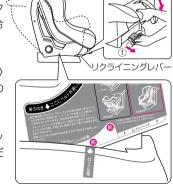
①本体背面にあるシャフトの▲マークが真後から見えるように回し合わせます。



②正面のリクライニングレバー を手前に引いた状態で、側面 の矢印が前向き位置でロック するよう着座部分の角度を合 わせます。

ロック位置は、〈起きた状態〉 〈少し倒れた状態〉の2つの 位置があります。

調整後はレバーが戻り、ロックされたことを確認してください。



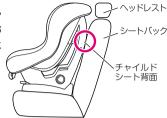
### **小**警告

ロックされていない状態で使用する と、事故時に重大な傷害を負う可能 性があります。

## **注**意

操作中に可動部分に指や物を挟まないよう注意してください。

③お車の座席に進行方向に対し 前向きに置きます。背部がお 車のシートバックに接するよ うに配置してください。

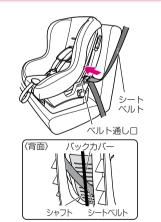


### ♪ アドバイス

- お車のシートバックの角度が調整できる場合は、チャイルドシートとシートバックのすき間が極力少なくなるよう、角度を調整してください。
- お車のヘッドレストが当たってすき間ができる場合は、ヘッドレスト の高さを調整いただくか、必要な場合は取り外してご使用ください。
- ●長期間、お車にチャイルドシートを取り付けることにより、お車のシートベルトやシートに跡が残る場合があります。チャイルドシートとお車のシートが接する部分にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。
- ④お車のシートベルトをベルト通し口に通します。

## ▲ 警告

- ベルト通し□以外にお車のシートベルトを通さないでください。 他の箇所を使用すると事故時に 重大な傷害を負う可能性があります。
- お車のシートベルトは必ずバックカバーとシャフトの間を通してください。



ベルト

通し口

ベルト

⑤反対側のベルト通し口からお車のシートベルトを引き出し、お車のタングをバックルに差し込みます。お車のシートベルトは必ずハンドルの後ろ側を通してください。

## ▲ 警告

お車のバックルが確実にロックされ ていることを確認してください。ロッ クされていないと事故時に重大な傷 害を負う可能性があります。

## **注**意

シートベルトは必ずハンドルの後ろ 側を通してください。前側、もしく は両側を通すと、チャイルドシート が取り外せなくなる場合があります。

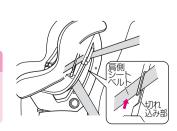


前側を诵す

⑥シャフトの切れ込みに肩側 シートベルトを通します。

## <u>(1)</u> 注 意

直射日光が当たってシャフトやハン ガーが熱くなることがあります。ご 使用時には十分注意してください。



両側を诵す

⑦チャイルドシートを押えつけながら、シートベルトを引っ張り、ある程度たるみを取り除いてください。

#### ♪ アドバイス

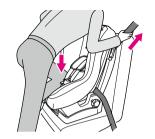
シートベルトを引っ張る際は、 シャフトから外れないよう注意し てください。

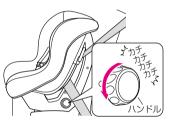
- ⑧ハンドルを"しまる"方向に回します。空回りしながら「カチカチカチ」と4回以上音がするまで回します。

  - ®バックル、タングがハンド ルに干渉する。などして しっかりと固定されない場 合は、リクライニング位置 を「少し倒れた状態」で取り付け直してください。 (P30 の②に戻る)

### ♪ アドバイス

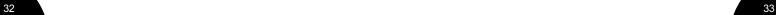
ハンドルを回している途中に傾い た場合は、チャイルドシートを押 さえつけ、極力まっすぐになるよ うに取り付けてください。







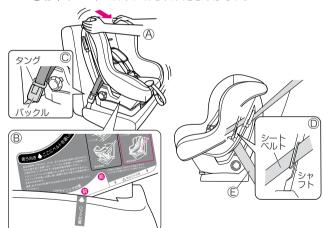




⑨取り付け後の確認方法。

下記内容を確認してください。正しく取り付けられていない場合は、 最初からやり直してください。

- ④チャイルドシート上端を引っ張り、しっかり固定されていることを確認する。(目安:動きが3cm以内)
- ®リクライニングが前向きの位置になっている。
- ②お車のバックルとタングがロックされている。
- ②お車のシートベルトがベルト通し口、シャフトを正しく通っている。
- ©お車のシートベルトにねじれやたるみがない。

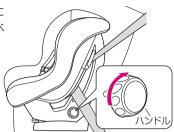


### ♪ アドバイス

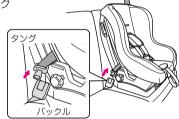
ご使用に際しては、定期的にシートベルトの緩みがないか確認し、緩みがあれば再度取り付け直してください。

### ■ お車からの取り外し

①ハンドルを"ゆるむ"方向に 回し、シャフトからシートベ ルトを外します。



②お車のシートベルトのタング をバックルから外します。



③ベルト通し口からシートベルトを引き出します。

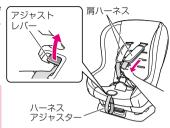


### ■ お子さまの座らせ方

①アジャストレバーを引き上げ ながら、肩ハーネスをすべて 引き出します。

### ♪ アドバイス

引き出す際には肩ハーネスを引っ 張ってください。ハーネスカバー を引っ張っても、引き出せません。

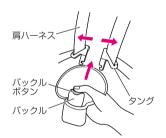


②バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩 ハーネスを左右に広げます。

## <u>î</u>注意

可動部分に指や物を挟まないように注意してください。

③お子さまをチャイルドシートの上に深く座らせます。





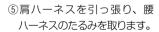
④肩ハーネスをお子さまの肩にかけます。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

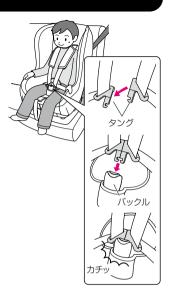
### ♪ アドバイス

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていること を確認してください。

## **企**警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。







⑥ハーネスアジャスターを引き、 お子さまの鎖骨と肩ハーネス に指一本が入る程度まで、肩 ハーネスのたるみを取ります。

### ▲ 警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



#### ⑦着座後の確認方法。

下記内容を確認してください。正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。

- ふバックル、タングが正しく結合されている。
- ®肩ハーネスは肩と同じか、高くなる肩ハーネス通し穴を使用している。
- ②ハーネスにねじれがなく、鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで締まっている。



### ■ お子さまの降ろし方

①アジャストレバーを引き上げ ながら、肩ハーネスをすべて 引き出します。

### ♪ アドバイス

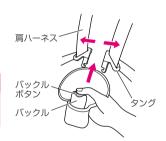
引き出す際には肩ハーネスを引っ 張ってください。ハーネスカバー を引っ張っても、引き出せません。



②バックルボタンを押してバック ルからタングを外し、肩ハー ネスを左右に広げます。

## <u>(1)</u> 注 意

可動部分に指や物を挟まないように注意してください。



③お子さまを静かにチャイルドシートから降ろします。

### ♪ アドバイス

緊急時にバックルボタンを押して もタングが外れない場合は、ハー ネスを切断するなどしてお子さま を救出してください。



## お手入れのしかた

### ■ クッション、カバー類の取り外し方

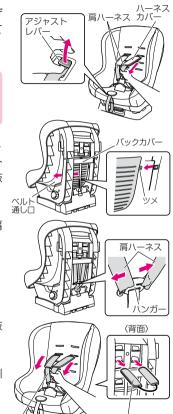
①アジャストレバーを引き上げ ながら、肩ハーネスをすべて 引き出します。

#### ▲ アドバイス

引き出す際には肩ハーネスを引っ 張ってください。ハーネスカバー を引っ張っても、引き出せません。

- ②背面のバックカバーの爪 (4 か所)を外し、側面のベルト 通し口からバックカバーを抜き取ります。
- ③背面にあるハンガーから肩 ハーネスを外します。

- ④正面から肩ハーネスを引き抜きます。
- ⑤背面からハーネスカバーを引き抜きます。

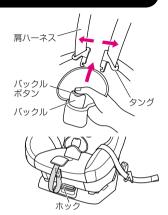


ハーネス カバー ⑥バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げます。

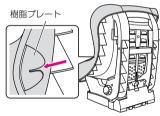
### **注**意

可動部分に指や物を挟まないよう に注意してください。

①ハーネスアジャスター末端の ホックを外します。



⑧本体から樹脂プレートを外し、 シートクッション、モールド クッション(ウレタン部分の み)を取り外します。



シートクッション





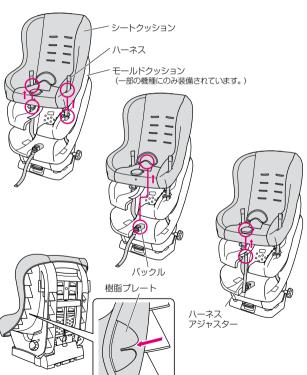




## お手入れのしかた

### ■ クッション、カバー類の取り付け方

①モールドクッション、シートクッションの穴にハーネス、バックル、ハーネスアジャスターを通し、本体に樹脂プレートを引っかけます。



②背面からハーネスカバーを 適切なハーネス通し穴に通 します。

適切な肩ハーネス通し穴に ついては P14 をご確認くだ さい。

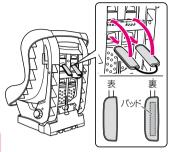
### ♪ アドバイス

ハーネスカバーには表裏があり ます。パッドを裏(お子さまの肩 に当たる) 側にしてください。

## <u>(1)</u> 注 意

ハーネスカバーを連結している紐が シャフトにかからないように注意し てください。バックカバーが取り付 けできなくなります。

③肩ハーネスをハーネスカ バーに通し、適切なハーネ ス通し穴に差し込みます。



背面から見たとき





シャフト 約



## お手入れのしかた

④背面にあるハンガーに肩ハーネスをかけます。

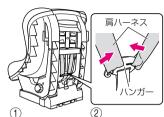
### ▲ 警告

次のような場合、事故時に重大な 傷害を負う可能性があります。正 しく取り付けられていることを確 認してください。

- ①肩ハーネスがねじれている。
- ②肩ハーネスがハンガーに半がかり(引っかけが不完全な状態)になっている。
- ③肩ハーネスがシャフトにかかった状態でハンガーに取り付けられている。
- ④肩ハーネスが樹脂部品の上を 通っている。

### **注**意

直射日光が当たってシャフトやハン ガーが熱くなることがあります。ご 使用時には十分注意してください。







3





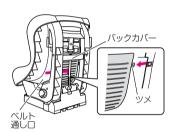
⑤ハーネスアジャスターを引き、 ハーネスのたるみを取ります。



⑥バックカバーを側面のベルト 通し口から差し込み、詰め(4 か所)を取り付けます。

## 1 注 意

バックカバーのツメが本体に確実 に固定されていない、取り付ける 向きが正しくない場合などは、事 故時に十分な機能を発揮しない可 能性があります。



⑦お子さまの体重が7kg 未満の場合、インナークッションが使用できます。取り付け方はP19を参照ください。

## 各部品のお手入れ

■ シートクッション、ハーネスカバー、インナークッション

中性洗剤を使用して、手で押し洗いをしてください。洗濯後は陰干しし、よく乾かしてください。







## **(!)** 注 意

- ●洗濯機は使用しないでください。型崩れしたり、破れることがあります。
- 洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

#### ■ 本体

プラスチック部やハーネス部は、やわらかい布で乾拭き、または水拭きしてください。水拭き後は陰干しし、よく乾かしてください。



### ⚠注 意

- 洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- ●水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

### ■ モールドクッション

やわらかい布で乾拭きし、陰干ししてください。



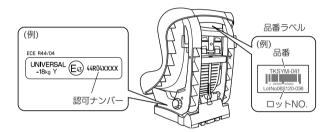
注意

●インナークッションのウレタンは洗濯しないでください。

## 補修部品について

お買い上げの販売店またはお客様相談室 (**조절** 0120-70-5441) までご連絡ください。

お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼ってあるラベルの品番を必ずお伝えください。 もし、背面ラベルが無い場合には、側面にあるラベルに記載されている許可ナンバーをお伝えください。



### ■ 製品情報

本製品は、協定規則第44号の第4改訂版 (ECE R44/04) に基づき 認可されております。



# **タカタ株式会社** シートベルト・エアバッグ・チャイルドシートの専門メーカー

商品についてのお問い合わせ・お客様相談室

受付時間:10時~17時/但し、土日、祝祭日は除きます 〒107-8508 東京都港区赤坂2-12-31